

# 日本語・日本文化研修留学生 修了レポート中間報告会

2019年1月16日(水)10:00~11:30

文教育学部1号館1階 第一会議室

※終了後、12:30まで茶話会を開催します(当日ご案内いたします)

本学で2018年度後期から学んでいる8名の日研究生がさまざまなテーマで発表を行います。

★本学教職員・学生はどなたでも参加できます。

★事前申し込み(1月15日まで)・お問合わせは国際教育センター  
global-kyoumu@cc.ocha.ac.jpにご連絡ください。

★お申し込みがない方でも、当日のご参加をお待ちしております。

お時間の許す限りぜひご来場ください。

お茶の水女子大学国際教育センター



発表者	タイトル
セレジニスカ パウリナ [ポーランド]	現在と過去のヴィジュアル系における イメージの作り方
ヴィシニェヴスカ マヤ オルガ [ポーランド]	フェミニズムが日本で持つ意味について
ユン ヘジョン [韓国]	メッセンジャーにおける依頼表現の日韓比較
ポープウン マンリカー [タイ]	日本語の程度(大・多)を表す副詞の 使い方について
ブイ レー ニヤット [ベトナム]	日越の祖先崇拜 — 一家族レベルでの祖先崇拜に関する両国の考え 方と活動の比較 —
グエン チュエン ティ [ベトナム]	ベトナム人日本語学習者から見た日本人の 曖昧表現—ベトナム人学習者の観点から—
リ キョンミン [韓国]	世界は『異邦人』を作り出す — 『人間失格』(太宰治著)と『異邦人』(アル ベール・カミュ著)を中心に『人間らしさ』を考 察する —
サヴァ サピナ マリア [ルーマニア]	浮世絵からアールヌーヴォーへの影響 — 葛飾北斎の花鳥画シリーズに焦点を当てて —